

令和8年3月11日

保護者各位

富山県立しらとり支援学校

令和7年度 重点課題（学校アクションプラン）の取組について

今年度の学校アクションプランとして設定した三つの重点課題について、取組の結果をお知らせします。

アクションプラン1<「目指す児童生徒像」「しらとりスタッフポリシー(試案)」に基づく指導・支援の充実>

【目標達成度】

1 「チーム力向上プロジェクト」の企画・実施 企画数11 実施回数延べ23回

2 チーム力向上PTが主催する研修会・勉強会への参加人数 延べ260人程度

- ・授業づくり勉強会、ニーズに応じた研修会、教職員全体への話題提供、小グループでの事例検討会など多岐に渡る企画が実施されました。それぞれの企画を複数回行うなどして参加しやすい環境設定に努めたことで、延べ260名程度の参加がありました。
- ・学んだことをもとに日々の子供たちへの指導・支援に生かそうと、研修会に参加したことをきっかけに小グループでの勉強会を行ったり、講師を務めた教員に具体的な事例について質問や相談をしたりする先生方の姿が見られました。今はまだ部分的な取組ですが、先生方の多様な学びの場が広がっていくことが期待されます。

アクションプラン2<災害発生後のより確実で安全な保護者への引き渡しの体制整備>

【目標達成度】

1 全校引き渡し訓練の実施 2回

2 引き渡し時のマニュアルの見直し、マニュアルの学習会の実施 2回

- ・訓練当日の保護者の具体的な動きを保護者案内で示したり、正面玄関で児童生徒を引き渡しする方式を取り入れたことで、引き渡し訓練を概ね問題なく実施することができました。訓練後のアンケートでは約9割の保護者から「スムーズであった」との回答をいただきました。
- ・訓練の前に、担当でマニュアルの見直しを行い、学習会で教職員に説明を行いました。第1回訓練であがった課題を改善した引き渡し体制で第2回の訓練が実施できたことで、本校の課題である、たくさんの児童生徒を混乱なく確実に保護者に引き渡しできる体制を構築することができました。

アクションプラン3<読書の充実を目指した図書委員会の活動>

【目標達成度】

1 図書委員による読み聞かせの回数（ビデオによるものも含む） 10回

2 「読書の木」に参加した児童生徒ののべ数 66%

- ・図書委員による読み聞かせの回数は10回となり達成目標をクリアしました。読み聞かせを繰り返すことで、本の内容に興味をもち、図書室で本を手取る児童が増えてきました。
- ・「読書の木」に参加した児童生徒ののべ数は66%となり、目標の80%には今一步届きませんでした。しかし一人で複数枚貼ったり貼られた葉っぱに興味深く眺めたりする児童生徒がおり、読み聞かせを含む今回の取り組みの実施により、本に対する興味関心や読書の意欲向上のきっかけとなったと感じる教員が約9割いました。



【 学校評議員からのご意見 】

<アクションプラン1について>

- ・「目指す児童生徒像」「しらとりスタッフポリシー」ともに、学校教育が目指すところを十分にまとめられていて、そこにつなげるための多様な学びの機会をもつのはたいへんよいことである。今後は、実践の歩みを検証して次の段階につなげていくというプラスの循環を高めていってほしい。

<アクションプラン2について>

- ・大地震をどこまで想定して計画するかは難しいところもあるが、必要なことである。保護者の迎えがなく児童生徒が学校に長く残るときの対応や職員の動きも考える必要がある。
- ・自治体として手伝えることがあれば応じたい。学校と地域と一緒にいろいろなことを想定しながら考えていきたい。

<アクションプラン3について>

- ・現存の校舎では図書室のスペース確保に制約があることは理解しているが、児童生徒数に対して蔵書環境の更なる充実を望む。家庭で不要になった本の寄贈を募るなどしていろいろな蔵書を増やす工夫も検討してはどうか。
- ・児童生徒がより身近に本に触れられるよう、学級文庫の設置など環境整備に期待したい。またICT活用が進んでいる現状を活かし、デジタルコンテンツと紙の書籍を併用した時代に即した読書活動の推進を進めてほしい。

保護者の皆さんには、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。いただいたご意見は、次年度の教育活動に反映できるよう検討していきます。今後も様々な機会を通じて情報を発信し、保護者の皆さんと共有しながら児童生徒の安心、安全はもとより、日々の学習をより充実したものにできるよう学校運営を進めて参ります。